

NGO・NPOの環境保全活動を支援します。

環境再生保全機構

No. 31

# 地球環境基金便り

特集 国際環境協力



(C)SUPRIYA BISWAS/UNDP Picture This

【写真】「EDUCATION FOR ALL」

撮影：SUPRIYA BISWAS さん（インド出身）

貧困削減や環境保護など8つの目標を定めた「ミレニアム開発目標 (MDGs : 7ページ参照)」をテーマに、2010年に実施された Picture This 写真コンテスト「世界を写そう：私たちは貧困を終わらせる」応募写真の一枚。



# 国際環境協力

## 5人に1人

1日1・25ドル以下で生活する人の割合は、

1990年の18億人から2005年には14億人に減少しました。

しかし、まだ世界の人口のおよそ5人に1人が

1日1・25ドル以下で暮らしています。

2000年に「国連ミレニアム宣言」を受けてまとめられた

「ミレニアム開発目標(MDGs)」では、2015年までに

世界の貧困を半減させることなどを目標にしています。

その目標達成に向けて、政府だけでなく、

多くのNGO・NPOが国内外で

さまざまな国際協力活動を展開しています。

(詳細は7ページの「キーワード」をご覧ください)

出典:「国連ミレニアム開発目標報告2010」



## Contents

特集 「国際環境協力」

巻頭インタビュー……………3

紺野 美沙子さん

数字からでは見えてこない  
人々の姿を伝えたい

「国際環境協力」の現状と課題……………6

途上国のためにNGOの連携と一人一人の行動力を

(特活) 国際協力NGOセンター 大橋 正明理事長インタビュー……………8

ケース・スタディ「さまざまな活動でNGOが貢献!」……………8

(公財) オイスカ

(財) 北九州国際技術協力協会

(特活) シャプラニールⅡ市民による海外協力の会……………10

助成団体レポート……………10

(特活) 日本国際ボランティアセンター(JVC)

世界が抱える問題の根源に目を向けて、

現地の人々と共に歩んだ30年……………12

地球環境基金のサポーター……………12

〈感謝状贈呈者…ほし〉

ファミマクレジット(株)、(株) アクセル、

京都中央信用金庫、日本カートリッジリサイクル工業会

〈広報のご協力〉

(財) 国民公園協会・(社) 国民宿舎協会、中日新聞東京本社……………14

地球環境基金をご支援くださった方々……………14

地球環境基金のサポーター……………16

ご不要になった本やCDを地球環境基金に寄付してみませんか  
ブックオフオンライン(株)「本 de 寄付」……………16



巻頭  
インタビュー

紺野 美沙子さん

女優  
UNDP 親善大使

# 数字からでは見えてこない

## 人々の姿を伝えたい

女優として活躍される一方、国連開発計画（UNDP）の親善大使を務める紺野美沙子さん。親善大使として各地を訪れ、国際協力の現場や現地の人々の暮らしをテレビやラジオの出演やインタビュー、執筆活動、講演などを通して伝えている紺野さんにお話をうかがいました。

### 国連開発計画（UNDP）の 親善大使として

親善大使になったきっかけは、1998年にUNDPのニューヨーク本部から突然届いた就任依頼のファクスでした。その前年に、外務省のODA（政府開発援助）に関する番組でインドとネパールを訪ねたことはあったのですが、国際協力は未経験の世界。まさに青天のへききでしたが、一女優として、またふつうの主婦や母親の視点で、途上国で見たこと感じたことを伝えることができればとお引き受けしました。

1日1・25ドル以下で暮らす最貧困層の人々が地球上で5人に1人いると聞いても、実際にそうした暮らしを想像することは難しいですね。スラム

1 カンボジアのメモル村では日本政府のODAで作られた井戸により、子どもたちは遠くまで水汲みに行かなくてすむようになった

2 モンゴルの特産品の一つ、はちみつ生産現場を訪問





3 タンザニアのムワンザでは、太陽光発電プロジェクトにより  
明かりがとるようになった教室でたくさんの学生が学んでいる

や、電気もガスも水道も病院も学校もない場所で暮らす人々が、世界にはたくさんいる。数字からでは見えてこないそんな人々の姿を、親善大使として伝えていきたいと思っています。

### どんな地域にも、 みんな一緒に日常がある

親善大使としてこれまでに9つの国・地域を訪問してきましたが、それぞれに印象深い驚きや発見がたくさん

ありました。

昨年は、パキスタンを訪ねました。行く前は、テロが頻発して治安が悪かったり、内戦があったり、怖いところといったイメージもありました。でも、どんな地域に行っても、そこに住む人たちの日常の暮らしがある。「僕たちはここで普通に暮らしているんだ、そんな危ない国だと思わないでくれ」と。

アフリカも、それぞれの地域で文化や民族は違うし、トイレがあるほうが珍しい地域もあります。それでも、親が子を思う気持ちは一緒です。お母さんは子どものために一生懸命ご飯を作っているし、少しでもいい教育を受けさせてやりたいと思って頑張っている。実際に現地に行かないと気づかないこともたくさんあるんです。百聞は一見にしかずですね。

### 世界を知ること 日本が分かる

日本の常識と、海外に出たときの常識や現実があまりに違いすぎると感じることもあります。自分の子どもたちの世代を見ると、ごみを出すことや使い捨てることに対する罪悪感がないうですね。それが当たり前になって

いて、このままで大丈夫かなと心配になります。小さい頃から世界の中の日本という視点を教えることで、子どもたちの意識も変わってくるのではないのでしょうか。

世界を知ること  
で、いかに自分たちが恵まれているかが分かるし、日本に生まれたからこそできること、やらなくてはいけないことが見えてくる。日本の若い人たちが「やりたいことが見つからない」なんて言っているのはもったいないですよ。

環境教育ももつ

と早い時期から行って、地球環境のことを子どもたちに分かってほしいな。世界のことを知っているのと知らないのではやはり違うし、それに問題意識をもって、みんなが少しずつ変えようと思えば、大きな力に

4 パキスタンの震災孤児が暮らすセンター。子どもたちに笑顔が戻り、将来の夢を語るようになってきた



なるのですから。

### 先進国の論理だけでなく、 それぞれの歴史や文化を

途上国でも、ブータン王国のように環境問題に力を入れているところも

紺野 美沙子さんが

## 親善大使として訪れた国・地域

### 1999年5月 カンボジア

親善大使として初めてカンボジアを訪問。地雷除去センターや身体障害者工芸センターなどを視察。

### 2000年7月 パレスチナ

UNDPの支援により開校した小学校や、ガザ地区の難民キャンプなどを視察。

### 2001年6月 ブータン

レモンガラスオイル製造プロジェクトなどを視察したほか、国連人口基金（UNFPA）の親善大使でもある王妃と謁見。

### 2003年8月 ガーナ

HIV／エイズ孤児支援プロジェクトの一つクween・マザー協会（イスタン州）の里親制度や、IT機器を載せたバスが各地を回る移動IT教室プロジェクト、アクラ服飾生産訓練センターなどを視察。

### 2004年7月 東ティモール

元兵士への農業訓練や技術訓練、地方復興プロジェクトのほか、公益財団法人オイスカが中心となり実施した農業訓練プログラムも視察。

### 2005年8月 ベトナム

チーランナム鳥類保護区域の管理・保全活動プロジェクトや、若者によるベトナム文化遺産保護・修復プロジェクトなどを視察。女性の地位向上や持続可能な環境についての意見交換会にも参加。

### 2006年8月 モンゴル

特産品づくりを支援する一村一品プロジェクト（写真 2）や草原保存プロジェクト、環境にやさしい住居プロジェクトなどを視察。

### 2007年8月 カンボジア

HIV／エイズとともに生きる女性のための手工芸品センター、トンレサップ湖の生態系保全と湖周辺の村落の人々の生計手段を守るプログラム、村落給水プロジェクト（写真 1）などを視察。

### 2008年8月 タンザニア

ムワンザで進められる太陽光発電プロジェクト（写真 3）や、HIV／エイズとともに生きる人々を支援するプロジェクト、貧困削減・環境保全のモデル事業であるユヴィキタ青年の村などを視察。

### 2010年8月 パキスタン

パキスタン人とアフガン難民が居住する難民受入地域プログラムや、2005年に起きた地震からの復興プロジェクト（写真 4）などを視察。

【写真提供（1～4）】UNDP／篠田 伸二

？

## 国連開発計画（UNDP）親善大使って？

国連開発計画（United Nations Development Programme）は、開発途上国の開発援助を行う国連の機関。親善大使は紺野さんのほか、テニスプレイヤーのマリア・シャラポアさん、サッカー選手のロナウドさんなど、世界で9人が任命されている。紺野さんは、これまでに9つの国・地域を訪問（左表参照）。2004年に訪問した東ティモールでは、8ページに紹介する公益財団法人オイスカが中心となって実施した農業訓練プログラムの現場も視察した。

あつてさまざまなのですが、先進国の経済至上主義が、途上国を翻弄（ほんろう）していることも少なくないと感じます。

森林の伐採や利益率の高い作物の植え付けなどは、生態系への影響がありますが、地域の雇用とも関係しているので難しい問題ですね。途上国の人たちは、確かに経済的には貧しいかもしれませんが、それぞれの歴史や文化の中で、淡々と暮らしている。まずは、住民の皆さんに敬意を表すことが大切だと思います。

## お互いの違いを認め合える世の中に

東日本大震災後、豊かさってなんだろうと改めて考えるようになりました。物やお金がいっぱいある……。それがいい人もいるでしょう。でも、自分の役割や居場所があつて、そこで心穏やかに過ごせることこそが、とてもありがたいことです。

国民総幸福量（\*1）という独自の指標で心の豊かさを計っているブータンに行ったとき、「足るを知る」という

ことを実感しましたが、金子みすゞさんの詩のように、「みんなちがって、みんないい」んですよ（\*2）。お互いの違いを認め合えるような、途上国も先進国もみんながWin-Winの関係になるような、そんな世の中になっていければいいと思っています。

\*1 国民総幸福量（GNH: Gross National Happiness）は、生活水準だけでなく心理的幸福などの項目も調査して人々の幸福度を示すもの。

\*2 金子みすゞ「わたしと小鳥とすずとより」。



こんの みさこ

東京都出身。慶應義塾大学卒業。大学在学中に俳優デビュー。以後、テレビや映画、舞台上で活躍。1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、アジア・アフリカの各国を視察。著書に、親善大使としての訪問記をまとめた『ラララ親善大使』（小学館、2008年）がある。2010年10月から「紺野美沙子の朗読座」を主宰。朗読と影絵や映像・音楽などさまざまなジャンルのアートとの公演を定期的に続けている。



# 途上国のために NGOの連携と一人一人の行動力を

地球規模で広がる環境問題の解決には、さまざまな主体による「国際環境協力」が不可欠です。特に、草の根レベルで活動する NGO には、開発途上国のニーズに応じた支援が期待されています。(特活) 国際協力 NGO センター (JANIC) の理事長である大橋正明さんに、NGO による国際環境協力の現状と課題について伺いました。

**Q1** 国際環境協力をめぐり、世界ではどのような動きがありますか？

**A1** 国際環境協力の活動主体には、市民組織である NGO のほか、国連などの国際機関や国レベルの ODA (政府開発援助)、自治体、企業などがあります。1992 年の「地球サミット」では、地球規模の問題の解決

には、国連や各国政府、NGO などさまざまな立場の組織や人々がパートナーシップを組み、協力して取り組んでいかなければならないという認識が共有されました。これは、地球温暖化問題を話し合う「気候変動枠組条約」や、2010 年 10 月に名古屋で議論された「生物多様性条約」にも共通しています。

**Q2** 国際協力 NGO に求められるものとは？

**A2** 日本の国際協力 NGO には、途上国の貧困や低開発などに取り組む「開発 NGO」と、気候変動や生物多様性などグローバルな環境問題に取り組む「環境 NGO」があります。開発 NGO は途上国の住民の生活が持続的に向上していく視点を、環境 NGO は自然を守り尊重する視点を大事にするなど、課題へのアプローチの仕方が異なります。

しかし、途上国では森林資源を収入源にするなど自然に依存して生活している人も多く、自然が破壊されて最も影響を受けるのは貧困層です。貧困や環境、人権、平和などのあらゆる問題は根底でつながっており、途上国の問題解決には両方の分野の NGO が互いの専門性を生かして協働することが重要といえます。

**Q3** これからの国際環境協力にとつての課題は？

**A3** 国連は、貧困削減や環境の持続可能性の確保などをめざしたミレニアム開発目標「MDGs」について、進展は見られるものの十分ではないと報告しています。その目標の一つである「極度の貧困半減」では、相当な進展はあったものの、サハラ以南アフリカや南アジアなどでは目標は達成されそうありません。また、飢餓に苦しむ人の数は 2009 年で 10 億人と過去最多を記録しています。

JANIC では「MDGs 2015 キャンペーン」に取り組んでいます。残念ながら、MDGs への社会の関心は低いのが現状です。東日本大震災では、一人一人の行動力で多くの援助が被災地に届けられました。このような大きな力を途上国へも向けてもらうために、国際環境協力への関心を高めていくことが今後必要になってくるものと思います。

## (特活) 国際協力 NGO センター (JANIC)

URL ▶ <http://www.janic.org/>

日本有数のネットワーク型 NGO として、国内外の NGO と連携し、日本政府や国際機関に向けた、市民社会や開発途上国の貧しい人々の立場に立った政策提言、NGO に関する情報の収集・発信、他機関との協力関係づくり、NGO を担う人や組織の能力強化などを行っている。

JANIC の大橋正明理事長 (左) と山口誠史事務局長。大橋さんは 2007 年から現職。日本 NPO センター 副代表理事、地球環境基金運営委員などを務める。



# キーワード

## 国連のミレニアム開発目標 (MDGs)

新しいミレニアム（千年紀）の始まりを前にした2000年9月、国連ミレニアム・サミットがニューヨークで開催され、日本を含む189の加盟国代表は、21世紀の国際社会の目標として「国連ミレニアム宣言」を採択。この国連ミレニアム宣言を受けてまとめられたものが「ミレニアム開発目標」で、「2015年までに世界の貧困を半減する」ことなどをめざした8つの目標から構成される。国連では、21のターゲット（詳細な目標）と60の指標を通してその進捗度を測定している。

### 国連のミレニアム開発目標 (MDGs) 8つの目標



**目標1** 貧困や飢餓をなくそう！



**目標2** 小学校に通えるようにしよう！



**目標3** 性による差別をなくそう！



**目標4** 赤ちゃんをまもろう！



**目標5** お母さんをまもろう！



**目標6** 病気をふせこう！



**目標7** 環境をよくしよう！

具体的なターゲットとしては、「持続可能な開発の原則を各国の政策や戦略に反映させ、環境資源の喪失を阻止し、回復を図る」「2015年までに、安全な飲料水と基礎的な衛生設備を継続的に利用できない人々の割合を半減させる」など。国連の報告などによると、世界の森林面積は2000年から2010年にかけて年間約1,300万 ha 減少する一方、年間700万 ha 以上の増加がみられ、結果的に年間520万 ha の純減少面積となった。また、安全な飲み水にアクセスできる途上国の人口の割合は71%だったが、2008年には84%に改善した。

例えば…

世界の森林面積

と で  
-1300万ha +700万ha -500万ha



**目標8** 世界みんなで助け合おう！

（各目標のロゴは「(特活) ほっとけない世界のまづしさ」が作成したもの）

## ODA Official Development Assistance (政府開発援助)

政府または政府機関が行う開発途上国の経済・社会の発展や福祉の向上のための資金や技術提供による協力。

## 持続可能な開発

環境や資源という土台があってこそ開発は成り立つものとし、将来にわたって発展していくためには環境と開発を不可分のものとする考え方。

## 地球サミット

1992年にリオデジャネイロで開催された「環境と開発に関する国連会議」の通称。「持続可能な開発」という理念に基づき、「環境と開発に関するリオ宣言」や行動計画「アジェンダ21」が採択された。2002年、ヨハネスブルグでの「持続可能な開発に関する世界首脳会議」（「リオ+10」）を経て、2012年、再びリオデジャネイロで「リオ+20」が開催される。

## 世界の『貧しい』を半分に。 MDGs 2015 キャンペーン

MDGsを知るためのイベントや「MDGs2015まとめて募金」を実施



するほか、ツイッターを活用し、MDGs達成に向けた「思い」を募集・紹介。関連企画「地球のごはんの日」では、途上国の問題と日本人の食生活との意外なつながりを紹介する。

「日本は食料の6割を海外からの輸入に頼っていますが、その食材や原料の中には、現地の自然を破壊して栽培されたものや、学校に行けない子どもたちが働いて収穫されたものがあることが分かっています。途上国の問題の一つが先進国にあるとすれば、毎日の生活を見直すなど日本人一人一人の行動力こそ国際環境協力の第一歩といえます」（山口誠史・JANIC 事務局長）



▶「地球のごはんの日」パンフレット



# 途上国の人々の暮らしや環境をよくしたい さまざまな活動でNGOが貢献！

特定非営利活動法人 シャプラニール＝市民による海外協力の会



URL ▶ <http://www.shaplaneer.org/>

## 国際協力の「遠い」を「近い」に



布に刺しゅうをするバングラデシュの女性。シャプラニールのフェアトレード活動「クラフトリンク」では、手工芸品の生産と販売活動を行う

シャプラニールとは、バングラデシュの言葉で「睡蓮の家」という意味で、シャプラ（睡蓮）はバングラデシュの国花です。そのバングラデシュをはじめ、ネパール、インドなど、その日の食べ物を得るのに苦労する5億人とも言われる貧困人口を抱える南アジア地域が「シャプラニール＝市民による海外協力の会」の活動地域となっています。シャプラニールは「援助をしない海外協力」を活動姿勢とし、資金や物を提供するだけの援助ではなく、現地で活動するNGOとの連携で行政などへの働きかけを行いながら、自分たちの力で自分たちの生活を向上していく過程の支援を1972年から続けています。

例えば、バングラデシュの地理的に隔絶された中州地帯（チョール）では、学校に通うことが困難な子どもたちを

対象に補習をするためのセンターを運営したり、生活向上のため、少女が知識を得て、主体性を発揮できる場となるようなグループ活動を支援したりしています。また、フェアトレード（※）活動「クラフトリンク」を通して、現地の人が作った手工芸品をシャプラニールが発行するカタログや販売協力店などで購入することで、日本にしながら国際協力ができるようになっていきます。

「『遠いを近いに』が、シャプラニールのスローガンです。南アジアの人々が直面する課題を『遠い』ものではなく、自分たちの課題として受けとめ、同じ地球に生きる一人一人の『身近』な取り組みによって、世界を変えるきっかけをつくっていきます」（広報担当）



バングラデシュにある、シャプラニールと現地NGOが運営するセンターで補習を受ける子どもたち。NGOや行政の支援が手薄な中州地帯には、学校に行けない子どもが多く住んでいる

※フェアトレード：途上国の商品を適正な価格で継続的に販売する取り組み。途上国の貧困解消や経済的な自立を目的としている。

財団法人 北九州国際技術協力協会

URL ▶ <http://www.kita.or.jp/>

## 環境と開発の調

北九州国際技術協力協会（KITA）は、1980年、地元の経済団体を中心に北九州地域に蓄積された工業技術を開発途上国へ移転することを目的に発足。その後、「持続可能な発展」をテーマに活動を拡大し、途上国における技術協力、人材育成のための国際研修等を実施しています。研修内容は、主に水質汚染防止や廃棄物の管理といった環境対策や、省エネルギーやクリーナープロダクション（CP）（※）といった産業技術や環境対策に関する分野で実施され、これまでに138か国・6,200人超の研修生を受け入れています。

開発途上国の技術協力については、ベトナム・ハイフォン市で取り組んだ2007～2009年の地球環境基金の助成活動で、市の支援のもと、排水で河川を汚すおそれのあった工場にCPによる環境対策を導入しました。また、同市の住民を対象に環境啓発セミナーを開催し、北九



現地NGO、Uli Peduliが主催する環境キャンペーンで賞を受賞したコミュニティ（インドネシア・スマラン市）【写真提供：Uli Peduli】

※クリーナープロダクション：従来の公害対策産から廃棄、再利用にいたる全ての工程で環



国際環境協力の現場では、多くの NGO が互いの専門性を生かし、開発途上国の NGO や人々と協力し合いながら、現地の人々が自立した生活を営めるよう、地域のニーズに応じた活動を実践しています。

(KITA)

KITA

公益財団法人 オイスカ (OISCA)

公益財団法人  
オイスカ

URL ▶ <http://www.oisca.org/>

## 和をめざして



現地での指導風景（ベトナム・ハイフォン市）

州市が公害を克服した取り組み等を紹介。地域での環境活動の実施に向けて働きかけを行いました。

インドネシア・スラバヤ市においては、生ごみの堆肥化（コンポストの活用）と資源ごみの分別収集による廃棄物の減量化を支援。行政機関、NGO、市民が協働してコンポストを普及させることにより、2004～2006年の3年間でごみ処理量の10%削減が達成されました。この成功例をインドネシア国内の他都市や、フィリピン・マレーシアなど他の東南アジア諸国へ展開するよう取り組んでいます。

「北九州市の市民・企業・行政が、これまで得てきた環境対策、廃棄物減量・リサイクルの技術や、産学官連携の取り組みの事例を協力先と共有し、ともに現地に合った手法を模索しながら、地球温暖化対策や循環型社会構築などに取り組んでいます」（人材育成担当課長・永石さん）

である排出口での汚染防止処理だけでなく、生境負荷の軽減をする考え。

## 住民自らが環境保全に取り組んでいくために

アジア・太平洋地域を中心に27の国と地域で活動を行う NGO、オイスカ。1961年、貧困や飢餓に苦しむアジアの人々に目を向け、「FOOD FIRST」をスローガンに、途上国へ農業技術者を派遣したのが活動の始まりです。活動の中心は、農村開発支援、そして地域社会で農業を担う人材の育成です。また、活動の中で、森林減少による洪水や干ばつという問題に直面したことから、植林活動などの環境保全にも取り組んでいます。

1980年に植林活動を開始したタイ東北部は、かつて70%あった森林面積がわずか3%に減少してしまった地域。継続的なボランティア派遣に加え、住民たちに自然との共生を伝える人材育成を通して、住民自らが環境保全活動に取り組むよう力を入れました。

このような植林や人材育成のノウハウを、より地域に根づかせ、より広い



「子供の森」では植林を通じて環境を学ぶ

世代を巻き込んだ活動へと発展させるため、1991年から「子供の森」計画が始まりました。子どもたちが学校などで苗木を植え、育てる体験を通して、将来にわたって自分たちのふるさとの自然を守っていく心と知識を身につけることを目的としています。こうした活動は、一部地域ではごみのリサイクルや有機農業の学習に発展しながら、現在、27か国4,410校の学校が参加するまでになりました。

「植林ボランティアの派遣なども含めた民間レベルの草の根レベルの国際協力を重ねることで、地域住民の環境への意識を少しずつ変えていくことができたと考えています。タイ・スリン県では今でも最初に植林を行った日が、「ラブ・グリーンデー」として県の大切な日となっています」（国際協力部・高田さん）



途上国の地域産業を支えるリーダーを育成する研修センターでの農業研修

特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター（JVC）

# 世界が抱える問題の根源に目を向けて、 現地の人々と共に歩んだ30年

足りないものをあげるのではなく、つくる方法を一緒に考える。紛争で傷ついた人を助けるだけではなく、紛争を起こさない道をつくる――。問題の根源へ根源へと深化してきた日本国際ボランティアセンター（JVC）の取り組みは、今、世界9か国で着実に根付いてきています。

## 難民支援から世界の問題へ

JVCの設立は1980年。インドシナ難民の惨状を知り、難民キャンプのあるタイに駆け付けた若者たちを中心に活動が始まりました。カンボジア難民のキャンプからラオス難民、ベトナム難民の支援まで、活動は多岐に渡りました。その活動が国連からも評価され、設立から4年程たった頃からはソマリアやエチオピアでの活動も開始しました。

しかし、難民支援だけでは問題は解決しません。難民を生む原因となっている紛争や環境問題などの複雑な構造

に目を向け、その解決に向けた取り組みが必要なのです。そこで、80年代中頃からはカンボジア国内での活動を始め、エチオピアやソマリアでは医療支援などから、より息の長い農業支援に取り組むようになりました。

## 90年代――「持続可能な開発」へ

「JVCの発足から10年が過ぎた90年は、日本のNGOが国際協力の担い手として社会的なステータスを確立し始めた年でもありました。特に91年のカンボジア和平を機に、80年代からカンボジア国内で活動を続けてきたJVCの活動が注目されるようになりました」

### タイ 地域開発



タイ・ボン郡の朝市。JVCと地元農家が始めた朝市は、町の行事として根付いている

た」というのは、事務局長の清水俊弘さんです。JVCの会員数も10000人の大台に乗り、政府に対する発言力も高まってきたといいます。

「92年のブラジル・リオデジャネイ

口での地球サミットでも、NGOが地球規模の環境・開発課題に取り組む重要なアクター（実践者）の一つとして認知度を高めることになりました。このころから、『持続可能な開発』ということが言われ始めます。途上国の人たちの生計を持続的に安定させるにはどうしたらいいか――。JVCの活動も、現地の人たちの力によってより長く活動が続けられるように、日本人によるボランティアから現地スタッフによる持続的な取り組みへと体制をシフトしていきました」（清水さん）

## インフラを支えた地球環境基金

「紛争や災害などの緊急支援とは違い、環境問題や開発問題には、地道で長期的な取り組みが求められます。し

### カンボジア 地域開発



小学校で実施している植林活動。環境教育だけでなく、子どもと大人の交流の場にもなっている





◀ 米の収穫量を増やすための「幼苗一本植え」の研修を受ける農家の人たち（カンボジア）

かし、一般からの寄付が集まりづらく活動の継続性を担保することが困難でした。そのような中、地球環境基金の助成を受けることで、活動効果を持続させる仕組みづくりをやり遂げる事ができたのではないかと思います。

また、その成果の積み上げが組織の信用につながり、会員や寄付者が増えるという好循環を生み出すことができました。95年には会員数は2000人

を超えました」（清水さん）

### 人々に根つき、広がる活動の効果

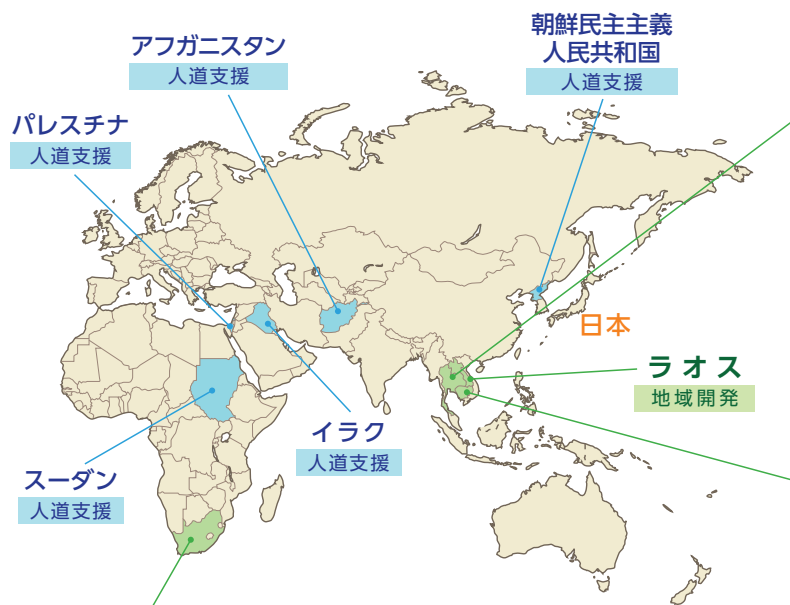
「地球環境基金には人材育成のための研修・セミナーといったすぐには効果が見えにくい活動を理解、支援してもらえました」と話すのは、カンボジアで10年間、農業研修の活動を行ってきた山崎勝さん。

「カンボジアでは、農薬や化学肥料を利用しないで稲の収穫量を増やすため、幼苗一本植えという農法の研修を行っています。35村を対象に活動を始めたのですが、最初は研修に参加する農家も50世帯ぐらいと少なかったですね。助成によって活動を継続できたおかげで、研修を受ける農家が増え、ほかの村でもやってほしいという声があつて、今では63村に広がりました。把握しているだけでも650世帯ぐらいが研修で学んだ方法で農業を始め、収穫量を上げています。研修を受けた人が学んだことをほかの人に教えたリ、近所の人に野菜の種を配ったりして、新しく始める人たちが増えていきます。人材育成が着実に根付いてきているなど感じています」（山崎さん）

「タイでも、10年くらい前に助成していたいたとき、有機農業に取り組

む地域の生産者が主体となって、農産物を直売する朝市をやり始めたのですが、それが今でも町の行事として残っているんです。そこでの活動が終わっても、効果が持続して一つの成果になっているのだと思います。

途上国では、農家が、外国に売るための換金作物をつくり、自分たちの生活は困窮しているという状況があります。そうではなく、自分たちが食べるための農業を営んでもらう。地産地消という地域循環、そういう仕組みづくりに結びつくような活動を、今後も目指していきたいです」（清水さん）



### 南アフリカ 地域開発

HIV 陽性者がお金をかけずに栄養をとれるよう、菜園づくりの研修を実施



### 特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター（JVC）

〒110-8605 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル6F  
<http://www.ngo-jvc.net/>

急激な変化にさらされているアジアやアフリカなどの農村で環境保全型の農業を通して地域開発支援を行うほか、紛争の影響を受けて人々が暮らす地域では医療をはじめとした人道支援を行う国際協力 NGO です。



事務局長の清水俊弘さん（左）とカンボジア事業部の山崎勝さん

# の方々をご紹介します

(敬称略)



## 感謝状贈呈者

地球環境基金では、一定額以上のご寄付をいただいた方へ、感謝状を贈呈しています。

### 感謝状 ほし

#### ファミマクレジット株式会社

(本社：東京都豊島区)

ファミリーマートで使えてTポイントも貯まる「ファミマTカード」を発行するファミマクレジット(株)では、平成20年10月から、環境保全活動の一環として、利用明細書のペーパーレス化を推進しています。

Web 明細書を選択した会員には、利用代金の請求月にTポイン

トを10ポイント付与し、明細の発行1件につき2円を同社から地球環境基金へご寄付いただいています。平成22年は、1,156,079件分の利用明細書がペーパーレス化されました。

この取り組みは、今年も引き続き実施されています。

(贈呈日：平成21年3月9日)



ファミマTカード

### 感謝状 ほし

#### 京都中央信用金庫

(本店：京都府京都市)



屋上緑化、太陽光パネル、全館LED照明を設置した府庁前支店屋上

平成22年6月に創立70周年を迎えた京都中央信用金庫は、環境問題に関する社会貢献の一環として、同年4月からエコ定期預金「地球がうれしい」を販売し、本定期預金の残高の0.015%に相当する金額を平成23年2月に地球環境基金へご寄付いただきました。

京都議定書採択の地を活動の中心とする信用金庫として、LED照明、ガスヒートポンプエアコンの設備や、太陽光発電、屋上緑化を採用した「環境配慮型店舗」の新設・建て替え、営業車に電気自動車を採用するなど、環境問題に対して継続的に取り組んでいる同金庫からは、今年度も引き続きエコ定期預金「地球がうれしいー2011ー」の販売を通じ、地球環境基金へのご協力をいただいています。

(贈呈日：平成23年3月18日)



平成23年6月より販売を開始し、7月下旬に予定の販売額に達したため、お取り扱いを終了しました。

### 感謝状 ほし

#### 株式会社アクセル

(本社：東京都千代田区)

グラフィックスおよびサウンド関連の半導体メーカーである株式会社アクセルは、「健康」「環境」「人材育成」をキーワードとしてさまざまな社会貢献活動を行っています。

「健康」においては、がん専門機関や、心臓病・脳卒中の予防、制圧のための事業を行う団体を支援し、「人材育成」においては、筑波

大学で組み込み技術者の育成を目的とした教育プログラムを開講しています。また、「環境」においては、地球環境基金に平成16年度より継続してご寄付をいただくとともに、事業所内での募金箱設置や、株主総会での地球環境基金のパンフレットの配布等、幅広いご協力をいただいています。



筑波大学で講義をする(株)アクセルの社員

(贈呈日：平成23年3月31日)





# 地球環境基金の「サポーター」

感謝状  
ほし

## 日本カートリッジリサイクル工業会



日本カートリッジリサイクル工業会 白崎会長  
(左)と(独)環境再生保全機構 理事長の湊(右)

日本カートリッジリサイクル工業会は、トナーカートリッジのリサイクルを推進する企業会員で構成された団体で(正会員: 31社、賛助会員: 18社)、独自の環境ラベル(トナーカートリッジ・リユースラベル)を定め、会員に販売して会の活動資金等に充当しています。2007年より4



独自の環境ラベル

年連続で、その売り上げの一部を地球環境基金にご寄付いただき、2011年度定時総会で当機構理事長の湊より白崎会長に感謝状を贈呈させていただきました。

(贈呈日:平成23年5月12日)

### ● 感謝状贈呈条件

| 感謝状 | ほし                      | そら           | みどり          |
|-----|-------------------------|--------------|--------------|
| 個人  | 20万円以上、または累計50万円以上のご寄付  | 累計20万円以上のご寄付 | 累計5万円以上のご寄付  |
| 団体  | 50万円以上、または累計100万円以上のご寄付 | 累計50万円以上のご寄付 | 累計10万円以上のご寄付 |

※感謝状「そら」「みどり」につきましては、2009年10月以降、入金が確認された方から随時発行しております。

## 広報のご協力

地球環境基金を一人でも多くの皆様に知っていただくために、さまざまな皆様にご協力をいただいております。

### 「本 de 寄付」の広報にご協力いただいています

#### 財団法人国民公園協会、社団法人国民宿舎協会

財団法人国民公園協会が維持管理、利用者サービスを行う皇居外苑、京都御苑、新宿御苑、また社団法人国民宿舎協会が運営する全国122か所の公営国民宿舎では、不要になった本やCDを地球環境基金に寄付できる「本 de 寄付」のチラシ設置や地球環境



【左】皇居外苑・楠公レストハウス内で「本 de 寄付」チラシ・広報誌を設置 【右】公営国民宿舎ホームページの「本 de 寄付」バナー



基金の広報誌の設置などでご協力いただいております。(「本 de 寄付」の詳細は裏表紙に掲載しております)

### 環境保全のメッセージを国際生物多様性の日に

#### 中日新聞東京本社

中日新聞東京本社(東京都千代田区)は、昨年より国際生物多様性の日である5月22日に東京新聞への記事広告の掲載にご協力いただいております。昨年は生物多様性条約COP10に係わる地球環境基金の助成活動、今年はリオ+20やCOP10のフォローアッ



東京新聞朝刊 平成23年5月22日掲載

プに関わる地球環境基金の助成活動を紹介していただきました。



平和観光開発株式会社  
三井住友カード株式会社 東京法人営業部  
三井住友海上火災保険株式会社  
三井住友海上きらめき生命保険株式会社  
三菱 UFJ ニコス株式会社 CRM 推進部  
コミュニケーション推進グループ  
有限会社インターリンク  
有限会社ふじ井

## 国・地方公共団体

昭島市役所 環境部 環境課  
上尾市役所 環境経済部 環境政策課  
朝来市役所 朝来支所  
朝来市役所 生活環境課  
天草市役所 環境課  
池田町役場 住民課  
伊勢市役所 環境課  
指宿市役所 市民生活部 環境政策課  
大井町役場 生活環境課  
尾張旭市役所 市民生活部 環境課  
上市町役場 町民課  
上富良野町役場 町民生活課  
川上村役場  
川崎町役場 町民生活課

河内長野市役所 環境保全課  
川西町役場  
環境省 募金箱  
草津市役所  
甲府市役所 環境部 環境総室 環境保全課  
古河市役所 環境政策課  
小平市ごみ減量推進実行委員会  
佐伯市役所 生活環境課  
佐世保市役所 吉井行政センター  
薩摩川内市役所 市民福祉部 環境課  
信濃町役場  
下野市役所  
高砂市役所  
東温市役所 市民福祉部 市民環境課  
戸田市役所 市民生活部 環境クリーン室  
中井町役場 環境経済課  
長浜市役所 湖北支所 福祉生活課  
長浜市役所 余呉支所 福祉生活課  
和水町役場  
成田市役所 環境部 環境計画課  
西尾市役所  
西予市役所 城川総合支所  
ひたちなか市役所 市民生活部 環境保全課  
洋野町役場 町民生活課  
美里町役場 保健課

宮津市役所  
吉川市役所 環境課

## その他

NPO 地域づくり工房  
NTT 全国 OB 会電友会五ツ橋クラブ  
ゴルフサークル  
財団法人キープ協会 国際部  
財団法人地球環境戦略研究機関  
財団法人山形美術館 募金箱  
摂津郵便局 貯保内お茶会  
泉北高倉台郵便局  
特定非営利活動法人国際連合活動支援  
クラシックライブ協会  
名古屋市立供米田中学校  
日本カートリッジリサイクル工業会  
三木みずほ環境河童調査隊  
「湿地の恵み展～湿地の観光と物産」  
実行委員会  
リサイクル汽車ポッポ

フリーマーケットを始めて19年・・・  
限りある資源に新たな命を吹き込もう！  
私たちができる小さな3R（減らす・再  
使用・再資源化）  
（その他：リサイクル汽車ポッポ様）

\*このリストは、地球環境基金への振込通知書等に記載された名称・氏名に基づき作成しておりますので、個人および企業・団体等の区別につきまして必ずしも正確ではない場合があります。また、紙面の都合により、ご寄付・ご支援くださったすべてのの方々のお名前を掲載できない場合もございますので、ご了承ください。

平成23年1月から6月末日現在までの寄付金総額：4,318万4,209円（392件）

平成23年6月末日現在の造成額：140億4,400万5,913円

「地球環境基金」へのご寄付は、下記口座より受け付けております。お振込みの手数料は無料です。

| 銀行名    | 口座名称   | 口座番号           |
|--------|--------|----------------|
| ゆうちょ銀行 | 地球環境基金 | 00190-0-664214 |

同一金融機関でのお振込みについては、取り扱い窓口でお申し出ください。

- ① 独立行政法人環境再生保全機構は、特定公益増進法人に指定されています。
- ② ゆうちょ銀行以外の銀行からお振込みいただく場合には、領収書が発行できません。領収書の発行を希望される方は、お手数ですが、地球環境基金部基金管理課（TEL：044-520-9606）へご連絡ください。

| 銀行名         | 支店名   | 口座番号    |
|-------------|-------|---------|
| 新生銀行        | 本店    | 0789699 |
| 三井住友銀行      | 東京公務部 | 3013615 |
| 三菱東京UFJ銀行   | 本店    | 7637448 |
| みずほコーポレート銀行 | 本店    | 2413416 |
| りそな銀行       | 赤坂支店  | 1023850 |

口座名称：独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金  
預金種目：普通預金

※この他にも、クレジットカードを利用した寄付や、楽天銀行を利用した寄付が可能です。詳しくはウェブサイトをご覧ください。  
地球環境基金の情報館 ▶ <http://www.erca.go.jp/jfge/>





# 地球環境基金をご支援くださった方々

地球環境基金に、平成 23 年 1 月から 6 月末までにご寄付・ご支援くださった方々は次のとおりです。  
個人や企業・団体としてご協力いただいた方はもちろん、さまざまなイベントを通じて募金活動にご参  
加・ご協力いただいた大勢の方々に深く御礼申し上げます。

(五十音順・敬称略)

## 個人

|          |        |
|----------|--------|
| 石田 和久    | 中村 典男  |
| 伊藤 一秀    | 西久保 裕彦 |
| 岩佐 瑞枝    | 西村 泉   |
| 江畑 雅美    | 沼野 伸生  |
| 奥井 美由紀   | 野田 好和  |
| 小隈 一人    | 長谷田 克彦 |
| 折谷 久美子   | 原田 貴子  |
| 川嶋 直     | 藤井 尚子  |
| 河邊 久美子   | 湊 亮策   |
| 河野 法子    | 南館 貴子  |
| 小林 正平    | 宮田 尚果  |
| 嶋元 誠     | 山崎 政純  |
| 関上 賢治    | 山田 秀明  |
| タチバナ マサシ | 山本 治男  |
| ナガノ チエコ  | 吉田 実   |

|          |           |
|----------|-----------|
| ハヤシ ジュンコ | ヤマモト カツヒコ |
| ハラ ノブコ   | ヤマモト ハルエ  |
| フルヤ ヒロコ  | ヨウメイ アキコ  |
| マツイ ヨウコ  | ヨウメイ ケンジ  |
| ヤザワ ケンジ  | ヨネダ エミ    |

壮大な地球環境保全事業に、わずかでも協力させていただくことは、私の誇りかつ生きがいでもあります。「継続は  
かなり」の気持ちで、今後も支援していきたいと思います。(個人：野田 好和様)

## 企業

### 東京ベイ信金 夢定期 eco

|            |           |
|------------|-----------|
| アベ トシオ     | コイソ ヨシミ   |
| イトウ カズオ    | コサカ エツコ   |
| イワサキ サトコ   | コバヤシ ヒサコ  |
| エグチ トモコ    | サイトウ カズユキ |
| オオツカ シュンスケ | サトウ カズユキ  |
| オオツカ ユウコ   | シバツジ ヒサコ  |
| オオノ ヨウコ    | タカハシ ヨシコ  |
| オカダ ユウジ    | タケウチ タカコ  |
| オガワ ヒロコ    | タケヤマ アキコ  |
| カナモリ ノブユキ  | タナカ ヒサコ   |
| クドウ ノリヒロ   | ナガオ ヨシコ   |
| クマガイ トシノブ  | ノウダ クミコ   |
| クロカワ ヒサコ   | ノグチ エイコ   |

|                    |
|--------------------|
| 奥只見観光株式会社          |
| 鹿児島ワシントンホテルプラザ     |
| 株式会社アクアフィナンシャルグループ |
| 株式会社アクセル           |
| 株式会社朝日フィナンシャルグループ  |
| 株式会社内田洋行 九州支店      |
| 株式会社エースランドリー       |
| 株式会社エコーパレースキー場     |
| 株式会社クアブラザピリカ       |
| 株式会社クレディセゾン        |
| 株式会社サイバーガジェット      |
| 株式会社サンシャインシティ      |
| 株式会社ジェイアール西日本      |
| デイリーサービスネット        |
| 株式会社ジェフグルメカード      |
| 株式会社ジャパングリエイト      |
| 株式会社そごう・西武         |
| 株式会社橘フィナンシャルグループ   |
| 株式会社東急スポーツオアシス     |
| 株式会社東急スポーツオアシス 梅田店 |
| 株式会社東急スポーツオアシス 宝塚店 |

|                             |
|-----------------------------|
| 株式会社トーカイ                    |
| 株式会社日本フラワー振興協会              |
| 株式会社ファミリーマート                |
| 株式会社北海道ファミリーマート             |
| 株式会社南九州ファミリーマート             |
| 株式会社沖縄ファミリーマート              |
| 株式会社富士通エフサス                 |
| 株式会社富士通マーケティング              |
| 株式会社富士通マーケティング<br>秋葉原事業所    |
| 株式会社富士通マーケティング・<br>エージェント   |
| 株式会社富士通マーケティング・<br>オフィスサービス |
| 株式会社フジランド 海老名 SA 事業部        |
| 株式会社プランタン銀座                 |
| 株式会社プレミアバンク                 |
| 荏田建設工業株式会社                  |
| 京都中央信用金庫                    |
| キヨタ株式会社                     |
| 車屋 ボルテックス                   |
| SUI INTERNATIONAL 株式会社      |
| セイワエステート株式会社                |
| トータリゼータエンジニアリング株式会社<br>園田分室 |
| 阪急阪神ホールディングス株式会社            |
| ファミマクレジット株式会社               |
| ファミリーマート 美濃上条店              |

全国紙でさまざまな特集を企画している  
広告代理店です。広告費用の一部を  
寄付しています。地球環境保護のエ  
ージェントとしても、少しでもお役に立  
てれば幸いです。  
(企業：(株)ジャパングリエイト様)

# ご不要になった本やCDを 地球環境基金に寄付してみませんか

身近な事から環境保全活動

## 本de寄付

「本 de 寄付」は、ご家庭や職場等でご不要になった本やCD・DVD・ゲームソフトをブックオフオンライン株式会社（神奈川県相模原市）に買い取っていただき、その買取金額の全額が地球環境基金に寄付される取り組みです。



### ご寄付のながれ

1

ご不要になった本やCDをダンボール箱につめる

お送りいただけるもの

- 単行本、文庫、新書 ● マンガ本
- CD・DVD ● ゲームソフト など



※お引き取りは30点以上からとなります。

2

「本 de 寄付」のお申し込み方法



ホームページから



FAXから

詳細は「地球環境基金の情報館」（<http://www.erca.go.jp/jfge/>）の「本 de 寄付」ご案内ページをご覧ください。

3

送料無料でお引き取り

お申し込みでご指定いただいた  
日時に、無料で  
集荷に伺います。



4

買取金額が寄付されます

入金の確認後、地球環境基金よりご  
寄付いただいた金額の通知とお礼状  
を送付させていただきます。



### 出展イベント情報

地球環境基金では、以下のイベントに出展する予定です。ご関心をお持ちになった方は、ぜひお越しになってみてください。

いずれのイベントにおいても、「本 de 寄付」の受付を行っていますので、出展ブースに、直接、本やCDをお持ち込みいただくことも可能です。

### ウィンターリゾート 2012

【日程】11月4日（金）～6日（日）

【会場】サンシャインシティ 展示ホール A・B  
（東京・池袋）

【内容】全国のスキー場が出展し、多くのスキーファンでにぎわうイベントです。昨年は、3万人を超える方にご来場いただきました。

### エコプロダクツ 2011

【日程】12月15日（木）～17日（土）

【会場】東京ビッグサイト（東京・有明）

【内容】開催13回目を迎える国内最大級の環境展示会です。昨年は、18万人を超える方にご来場いただきました。

### 「地球環境基金便り 31号」読者アンケートにご協力ください

アンケートは、14ページのアンケートはがき、およびホームページ「地球環境基金の情報館」のアンケートページ（<http://www.erca.go.jp/jfge/info/publicity/tayori/form.html>）において受け付けております。皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

### Present

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、紺野美沙子さんのサイン色紙を2名、サイン本「ラララ親善大使」（写真）を3名、サイン入りクリアファイルを4名の方にプレゼントします（応募締切は2012年2月末）。当選者の発表は、地球環境基金のホームページ上で行う予定です。

『ラララ親善大使』（小学館・2008年）

UNDP（国連開発計画）親善大使として活動する女優の紺野美沙子さんが、大使としての10年間の体験を写真と文章で綴ったエッセイ集です。「子どもたちにも、ぜひ読んでほしいだったので、タイトルも硬くならないよう「ラララ」とつけました」（紺野さん）

